

平成30年度日本小児外科学会
第7回定例理事会議事録

日 時：令和元年 5 月 22 日（水） 10：00～14：00

会 場：萃香園ホテル 2F 千歳の間

出席者：越永従道（理事長）、田尻達郎（副理事長）、八木 實（理事・会長）、山高篤行（理事・次期会長）、奥山宏臣、廣部誠一、臼井規朗、金森 豊、野田卓男（以上理事）、猪股裕紀洋、仁尾正記（以上監事）、黒田達夫（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、橋詰直樹（庶務委員補佐）、浦尾正彦（財務会計補佐）、米田光宏（施設認定委員会委員長）、小野滋（専門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門医制度庶務委員会委員長）、米倉竹夫（第35回秋季シンポジウム会長、利益相反委員会委員長）、田口智章（日本小児期外科系関連学会協議会会長）、仁田尾慶太（事務局）

議事案件：

議 事：

1. 第7回定例理事会の議事録署名人は、山高篤行理事、臼井規朗理事とした。
2. 平成30年度第6回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第56回学術集会について（八木会長）

八木会長より、学術集会開催にあたって挨拶が述べられた。

会 期:令和元年 5 月 23 日（木）～25 日（土）

会 場:久留米シティプラザ

テーマ: 継往開来 ～小児外科学の継承と発展～

2) 第57回学術集会について（山高次期会長）

山高次期会長より、ポスターやプログラム案等が報告され、承認された。

会 期:令和 2 年 5 月 21 日（木）～23 日（土）

会 場:都市センターホテル

テーマ: 小児医療システムの擁護と支援:「子どもが最初、いつだって」

3) 第35回秋季シンポジウムについて（米倉秋季シンポジウム会長）

米倉秋季シンポジウム会長より資料に基づき、日程表等進捗状況が報告され、了承された。

会 期：令和元年 10 月 19 日（土）

会 場：大阪国際交流センター

テーマ：小児集中治療

- 4) 第 36 回秋季シンポジウムについて（廣部次期秋季シンポジウム会長）
廣部次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、日程等が提案され、承認された。
会 期：令和 2 年 11 月 7 日（土）
会 場：一橋講堂
テーマ：手術の新しいデバイスと工夫

- 5) 第 37 回秋季シンポジウムについて（金森次々期秋季シンポジウム会長）
金森次々期秋季シンポジウム会長より、準備状況が報告され、了承された。
テーマ：小児外科疾患に対する再生医療・細胞療法研究と応用

- 6) 評議員会・総会進行手順について（藤野庶務委員長）
藤野庶務委員長より、評議員会・総会進行手順について説明された。

- 7) 次期理事、次期監事、次々期会長選任の件（藤野庶務委員長）
藤野庶務委員長より、立候補状況につき報告があり了承された。

- 8) 庶務委員会審議事項（藤野委員長）
藤野委員長より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

- 9) 財務会計委員会審議事項（浦尾補佐）
浦尾補佐より、平成 30 年度収支決算報告、令和元年度収支予算案につき説明があり、
質疑応答の後、了承された。

- 10) 各種委員会審議事項
 - (1) 機関誌委員会（奥山担当理事）
奥山担当理事より、以下の点について報告・提案があり、承認された。
・JSPS 学術集会最優秀論文賞（JSPS prize）の本年度（2019 年、第 56 回学術集会）
は以下の 1 論文の受賞が推薦され、承認された。
Koji Yamada, M.D.
Department of Pediatric Surgery, Kagoshima University School of Medicine
Impact and characteristics of two- and three-dimensional forceps manipulation
using laparoscopic hepaticojejunostomy mimicking a disease-specific simulator: A
comparison of pediatric surgeons with gastrointestinal surgeons

 - (2) 国際・広報委員会（越永担当理事）
越永担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

 - (3) 保険診療委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(4) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(5) 悪性腫瘍委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(6) 学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、以下の点について報告・提案があり、一部承認された。

・全国規模の学術アンケート調査について

規定では、学会で承認した全国規模の学術アンケートについては、終了後学会に結果を報告することが義務付けられており、報告された結果については、学術・先進医療検討委員会がホームページに掲載して学会員に還元することになっているが、これまで報告がなかった学術アンケートが少なくとも9件あったことが判明し、報告に関する期限や方法などを具体的に規定に盛り込むことが提案された。

原案だと論文より先にアンケート結果が出てしまうと差し障りがある可能性が残るため、文面を再度委員会で検討の上、規約委員会で文言のチェックをし、改めて理事会で審議することとした。

・新生児外科全国集計のNCD-P統計への移管に伴う業務経費について

5年に一度、新生児外科全国集計を行ってきており、前回の全国集計が2013年の症例であったが、次回の2018年の症例についての集計は、2015年から開始されたNCD-Pのデータを利用して行うことになっており（移管の妥当性についてはパイロットスタディーで検証済み）、NCD事務局において、2018年のNCD-Pから業務経費の見積もりをもらったと以下の報告がされた。

●見積もり額 256,2000 円

●内訳

①ダウンロードデータの精査・・・0.5人日・・・4万円

②データクリーニング・・・1人日・・・8万円

③記述統計データの算出・・・1人日・・・8万円

＋事務管理費（経費の20%）・・・4万円

＋消費税・・・・・・・・1.92万円

この1年間の経費は理事会で承認され、継続して5年分の費用についても改めてNCD事務局に確認し、報告することとした。

・ホームページ掲載の「小児外科で治療する病気」の改訂案について

現在ホームページに掲載されている「小児外科で治療する病気」について学術・先進医療検討委員会で内容を検討し、大改訂・小改訂を含めて合計43疾患についての改訂案を作成したと報告があり、本理事会から2週間を確認期間として設け、確認期間が終了

後に、掲載を進めることが承認された。

(7) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、以下の点について報告・提案があり、承認された。

・倫理安全管理委員会だよりを2つ作成し、一部表現を変更することとし、HPに掲載することが承認された。なお、今回をもって話の材料が尽きてきたため、小休止すると報告された。

(8) データベース委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、以下の点について報告・提案があり、承認された。

・NCDデータによる新生児外科パイロットスタディの解析結果に関する論文研究について、この研究は臨床効果データベース整備事業で構築したデータベースを用いた研究でもあり、個人名での論文投稿よりかは学会名（委員会名）が入ったの投稿が妥当であるとし、個人名と委員名（実際にかかわった方）と併記する形での投稿とすることで、承認された。

・NCDデータを利用した急性虫垂炎の研究の論文投稿について、今回の論文投稿を認めることが承認された。ただ、申請者には次回以降投稿がリジェクトされた時はどうされるかを確認することとし、次回論文投稿をするときには改めて研究計画書を提出してもらうことを申請者に伝えることとした。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(10) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(11) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(12) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(13) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(14) NCD連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、以下の点について報告・提案があり、承認された。

・腸回転異常症に対する診療ガイドラインを作成することが決定しており、外部の方の扱いについては、ガイドライン委員会のワーキンググループを立ち上げる形で委員としての扱いではないが、ワーキンググループのメンバーとして関わっていただくような形で運用することが提案され、承認された。なお、このワーキンググループが複数立ち上がる様なことがあった場合には、運用を見つめなおす機会が必要であることもあわせて確認された。次期体制の委員会の委員を決定する時までこのワーキンググループのメンバーも同時に人選を行い、改めて理事会で審議することとした。

(16) 利益相反委員会（米倉委員長）

米倉委員長より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

11) 日本小児期外科系関連学会協議会について（田口日本小児期外科系関連学会協議会会長）

田口日本小児期外科系関連学会協議会会長より資料に基づき、日本小児期外科系関連学会協議会の設立した経緯や歴史、活動内容について報告がされた。2017年5月1日に一般社団法人化したため、旅費は各学会負担という形をとらずに、予算規模に応じた年会費を各団体に請求する形で運営したらどうかと提案がされ、継続審議となった。

以下、主な活動内容

- ・2年ごとの診療報酬改定を外科系学会社会保険委員会連合とともに厚生労働省に要望書を提出している。
- ・日本小児医療保健協議会（四者協）に日本小児期外科系関連学会協議会として参加している。国の政策の情報等がこの会を通じて入り、国への要望にもこの会を通すと影響力が高いため。

4. 報告事項

1) 理事長報告（越永理事長）

(1) 第23回メール審議報告（第58回日本生体医工学会大会への協賛について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(2) 第24回メール審議報告（サブスペシャリティ領域専門医制度の認定要件見直しについての要望書について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(3) 第25回メール審議報告（会員からの新生児外科アンケート結果の利用申請について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(4) 第26回メール審議報告（NCDデータによる新生児外科パイロットスタディの解析結果に関する論文研究について）について、保留とし、理事会で再度審議することとしたと報告された。

(5) 第27回メール審議報告（動物の愛護及び管理に関する法律の改正について）につ

いて、全会一致にて承認されたことが報告された。

(6) 第 28 回メール審議報告 (NCD データを利用した急性虫垂炎の研究の論文投稿について) について、保留とし、理事会で再度審議することしたと報告された。

(7) 第 29 回メール審議報告 (全国規模の学術アンケート調査に関する規定の改定について) について、保留とし、理事会で再度審議することしたと報告された。

(8) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ! Vol.174」を受領した。

(9) 日本医師会からの寄贈本「[JMA Journal] vol2-1」を受領した。

(10) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故調査・支援センター2018 年報」を受領した。

(11) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「NEWS LETTER3月号」を受領した。

(12) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「NEWS LETTER5月号」を受領した。

(13) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターNo.189」を受領した。

(14) 日本専門医機構からの寄贈本「日本専門医制度概報【平成 30 年(2018 年)度版】」を受領した。

(15) 日本臨床検査医学会からの寄贈本「臨床検査のガイドライン」を受領した。

(16) 日本プライマリ・ケア連合学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。

(17) 日本医師会からの通信文「[2019 年度医学生、研修医等をサポートするための会]の開催について」を受領した。

(18) 日本外科学会からの通信文「日本外科学会定期学術集会の開催日程のお知らせとお願い」を受領した。

(19) 日本外科学会からの通信文「日本外科学会外科専門医認定試験および予備試験日程のお知らせとお願い」を受領した。

(20) 日本医学会からの通信文「ヒト (自己) 骨髄由来間葉系幹細胞の最適使用推進ガイドラインについて」を受領した。

(21) 日本医学会からの通信文「医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取り扱いについて」を受領した。

(22) 日本医学会からの通信文「[遺伝子治療等臨床研究に関する指針]の全部改正について」を受領した。

(23) 日本医学会からの通信文「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律等の施行について」を受領した。

(24) 日本医学会からの通信文「悪徳雑誌への注意喚起について」を受領した。

(25) 日本医学会からの通信文「国立研究開発法人科学技術振興機構からのお知らせについて」を受領した。

(26) 日本医学会からの通信文「平成 30 年度日本医学会新規加盟学会について」を受領した。

(27) 日本医学会からの通信文「デュピルマブ (遺伝子組換え) 製剤の最適推進使用ガイドライン (気管支喘息) について」を受領した。

(28) 日本医学会からの通信文「[血液製剤の使用指針]の一部改正について」を受領し

た。

(29) 日本医学会からの通信文「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインに関する Q&A について (その 2)」を受領した。

(30) 日本医学会からの通信文「臨床研究法の対象となる臨床研究等の事例集等の一部改正について」を受領した。

(31) 日本医学会からの通信文「模擬審査における認定委員会の審査資料一式について」を受領した。

(32) 日本医学会からの通信文「臨床研究法の統一書式について」を受領した。

(33) 日本医学会からの通信文「臨床研究法の施行等に関する Q&A について (その 6)」を受領した。

(34) 日本医学会からの通信文「平成 31 年度版 死亡診断書 (死体検案書) 記入マニュアルの追補について」を受領した。

(35) 日本医学会からの通信文「「医師による異状死体の届出の徹底について」に関する質疑応答集 (Q&A) について」を受領した。

(36) 日本医学会からの通信文「人生会議 (ACP) のロゴマークの選定について」を受領した。

(37) 日本医学会からの通信文「MID-NET の利活用に係る申出等の事務処理手続の取扱いについて」を受領した。

(38) 日本外科学会からの通信文「第 1 回外科医労働環境改善委員会議事録」を受領した。

(39) 日本外科学会からの通信文「新専門医制度における外科サブスペシャリティ 6 領域との連動研修について」を受領した。

(40) 仁尾監事より業務監査報告書を受領した。猪股監事より、各委員会の提案の完成度を高め、理事会の負担を減らすことを目指してはどうかという点、プログラム委員会が理事会と内容が重なる部分が多いため、プログラム委員会の在り方について検討してはどうかという意見があった。また、仁尾監事より、理事会で細かいことを決めすぎていたため、重要な議論に時間が割けていなかったところも見受けられたため、総合調整委員会も含め、工夫をしていただきたいと意見があった。

(41) 倫理・安全管理委員会へ「高吸水性樹脂素材の玩具誤飲により腸閉塞を来した幼児の一例」について諮問したことが報告された。国民生活センターや四者協とも連携して、一般の方に分かりやすい形を模索する必要があるとして、次期理事会での審議を依頼した。

2) 庶務委員会報告 (藤野委員長)

藤野委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

3) 財務会計委員会報告 (浦尾補佐)

浦尾補佐より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

4) 各種委員会報告

(1) 機関誌委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(2) 国際・広報委員会（越永担当理事）

越永担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(3) 保険診療委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(4) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(5) 悪性腫瘍委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(6) 学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・本学会の学術資料に関する収集・調査分析と報告

本学術集会発表より優れた手術ビデオを選出し、HP のビデオライブラリー（デジタル化）に毎年追加する。第 56 回日本小児外科学会学術集会にて、ビデオ発表の評価を行う。

- ・新生児外科全国調査

NCD データによる新生児外科パイロットスタディの解析結果に関する論文作成につき理事会に申請中である。2020 年の日本小児外科学会学術集会、および、日本麻酔科学会学術集会で、担当理事が新生児外科全国調査に関して報告する。

- ・先進医療及び学術的情報収集および会員への情報提供

2018 年 1 月から 12 月に publish された systematic review の論文選定を行い、最終的な選定論文数は 54 編で、2015～2018 年で 150 論文となった。2019 年 4 月 8 日に HP 掲載された。

- ・学術・先進医療検討委員会として、学会企画演題の提案を行った。

(7) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(8) データベース委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(10) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(11) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(12) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(13) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(14) NCD連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

・第56回日本小児外科学会学術集会において、第9回NCD小児外科領域会議を2019年5月23日第1会場グランドホールで開催予定であり、今後、NCD小児外科領域会議は年に1回の開催となる。

・NCDへの追加・変更要望術式

2019年度については、NS0395癒合陰唇形成術（癒着剥離のみは除く）、NS0397精巣良性腫瘍手術（核出）、NS0398陰嚢形成術、NS0399卵巣捻転解除術（開腹）、NT0287門脈-肝内門脈吻合術（Rexシャントなど）の5術式が新規に採用された。OQ0410は食道狭窄拡張術（バルーンカテーテル）、NS0393は腹腔鏡下尿膜管（嚢胞）摘出術と名称変更された。2019年分から入力可能となっている。

2020年度の追加・変更要望術式は、5月13日にメールにて学会員に告知し6月14日締め切りで現在募集中である。

・術式等メンテナンス

2019年NCD術式番号の変更に伴い、2019小児外科・NCD術式対応表（小児外科手術名とNCD術式の対応表）、2019_仕様書_小児外科専門医（NCD-Pediatricの基本仕様）、〈小児外科領域仕様書〉別紙資料_2019年（医療品質評価のための対象術式抽出条件）、外科専門医 小児⑦の到達目標3（2019年）（日本外科学会専門医認定の小児手術要件）、NCD-P手術術式検索システム、等の改訂を行った。

・NCD自施設データ利用の許可

2019年1月以降、3施設からNCD参加各施設からの小児外科専門領域に関する自施設データダウンロード利用許可申請があった。委員長を中心に委員会で審議・検討のうえ、2施設に対して2013年～2015年、1施設に対して2016年～2017年の自施設データダウンロードを許可した。

・NCD 小児外科領域アニュアルレポートの作成

2015-2016 年のアニュアルレポート（NCD-P 開始後初回のアニュアルレポート）を委員会報告として作成し、日本小児外科学会雑誌に投稿した。（日小外会誌第 55 巻 2 号（4 月）掲載済み、補遺：日小外会誌第 55 巻 4 号（6 月）掲載予定）

2017 年アニュアルレポート（暫定データ）は、第 56 回日本小児外科学会学術集会においてポスターを用いて報告し、領域会議でスライドを用いて説明予定。

・Q&A集の更新

2018年10月以降、NCDおよび小児外科学会にあった新しい問い合わせ5件に対して、メール審議を行ったうえでQ&A集を更新した。

・リスクカリキュレータ（医療品質評価）

2018年6月-11月：モデルの最終調整と並行して論文作成に着手。

2018年12月-2019年1月：共同研究者内で論文査読する過程で、Calibration plotを追加する方針となる。

2019年2月-4月：Calibration plotの作成後、結果検証を含め、論文内容を最終確認した。

*今後の予定：論文を投稿し採択され次第リスクカリキュレータを実装する予定。

・Auditとサイトビジット

2017年の症例数の上位20施設から乱数表を用いて、NPO岡山医療センター、自治医大栃木こども医療センター、埼玉県立小児医療センター、神奈川県立こども医療センターの4施設を選択し、近々Audit（サイトビジット）を2名ずつで実施予定である。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(16) 利益相反委員会（米倉委員長）

米倉委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

5) 評議員会理事長報告（越永理事長）

越永理事長より、評議員会資料が多いので、評議員会では大事な点を絞って説明する旨、報告された。

6) 専門医制度委員会報告（米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長）

米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、以下の点について、報告・提案があり、承認された。

・サブスペシャリティ領域としての小児外科専門研修の連動研修は延期になった。

・専門医制度手引きで数か所誤植があったことが報告され、本理事会で承認された。

大きな点として、小児外科専門医の臨床実績「新生児20例以上の手術経験，うち少な

くとも 5例は執刀経験とし、残りは助手でも可」と、その他数点の修正を行う。

- ・認定施設の要件を変更したため、HP上に新しい申請書をアップした。
- ・3月22日付で日本専門医機構に「サブスペシャリティ領域専門医制度の認定要件見直しについての要望書」を提出した。
- ・小児外科専門研修カリキュラム自己チェックリストを作成した。

7) 地域総合小児医療連絡協議会報告（廣部委員）

廣部委員より、3月3日に開催された地域総合小児医療連絡協議会に出席し、地域総合小児医療認定医の資格条件に新たに小児外科専門医も加わることが報告され、会員ニュース等で会員に対して広報してはどうかと提案がなされた。

8) 財務会計委員長退任挨拶（渡井委員長）

渡井財務会計委員長より、退任の挨拶があった。

9) 次回定例理事会日程の確認（越永理事長）

次回理事会は令和元年5月25日（土）7:10～8:10 久留米シティプラザ4F 中会議室3にて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____